



陽東中だより

第9号

平成30年12月21日

発行者 校長 酒井功夫

目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

ふれあい文化教室

11月29日(木)と12月13日(木)に2年生を対象とした「ふれあい文化教室」を学級ごとに実施しました。「ふれあい文化教室」は、文化芸術への関心を深め、豊かな人間性を育むことを目的とし、今年度も昨年度同様津軽三味線に触れたり、演奏を聴いたりして、普段できない体験や感動を味わいました。

指導者として、NPO 法人津軽三味線 裕翔会 から5人の先生に来ていただき、1学級が5つのグループに分かれて実際に三味線を手に取って楽しい時間を過ごしました。まず最初に、一人一人の生徒が三味線とバチの持ち方を教えてもらった後、実際にバチで弦をはじかせてもらいました。すると「ボワーン」という本来の三味線の音とは思えない音しか出なくて、指導者の先生が出す「バシッ」という力強い音には、改めて専門家の先生方の素晴らしさを感じました。



農業体験実習（芋掘り）



11月29日(木)の午後に、学校から東に行ったところに借りている学校農園で、1学年の生徒、教師が力を合わせてサツマイモ掘りを行いました。今年の5月に畝づくりと植え付けを行い、夏の雑草取りに苦労しながら、やっと収穫できるまでにこぎ着けました。

生徒たちは、想像以上の大きさに感嘆の声をあげながら、途中で芋を傷つけないよう細心の注意を払って掘っていました。今年のサツマイモは、ベニアズマという品種で、関東では人気があり、甘みが強い品種です。果肉の色は黄色く、粉質で繊維質が少ないので、蒸したり焼いたりするとほくほくしておいしいそうです。収穫できた芋は、調理実習したり、給食に出したりして、みんなで食べたいと考えています。

「人生の先輩の生き方に学ぶ」講演会 ～夢に向かって 一生踊り子～

11月30日(金)に、「人生の先輩の生き方に学ぶ」講演会を実施しました。今年度は本校の卒業生で、マツケンサンバⅡの振付師としても有名である真島茂樹氏をお呼びしました。この講演会のねらいは、人生の先輩から、夢を叶えるために歩んできた道のりや努力の過程の話を聞くことで、自己の将来を前向きに切り拓いていこうとする気持ちを持たせ、困難に立ち向かう強い意志を学ばせる一助とすることです。

当日は、通常の講演会と違い、芸能界で活躍している人らしくマツケンサンバⅡ



の曲にあわせて登場し、壇上ではなく生徒との距離が近いフロアで講演をしていただきました。幼少期から中学、高校、ブロードウェイ時代、そして松平健さんと知り合ってから現在に至るまでの様子とそのときの気持ちについて語ってくれました。自分の夢を叶えるためには、強い意志と決断力、そして人との出会いを大切にすることが重要だということがよく分かりました。

講演会当日の様子は、12月2日(土)のとちぎテレビ「イブニング6サタデー」で放映されました。そして、本校HPでも紹介しています。また、校長室には、真島茂樹氏のサインがあるので、ご来校の際はぜひご覧ください。

受験への臨み方

3年生は、年が明けるとすぐに私立高校の入学試験が始まります。1, 2年生にとってはまだ先のことだと考えている人もいますが、いずれは必ずやってくるものです。そこで、今回は入学試験への臨み方について私の今までの経験を折り込みながら、少しアドバイスしたいと思います。家庭で、ぜひ話題にしていただけだと幸いです。

入学試験日が間近になったとき、心がけたいことの第一は、「心にゆとりをもって試験に臨め」ということです。人間の頭脳は、朝起きてから3時間ほどして、はじめて正常に働くと言われていています。普通、試験が始まるのは、9時頃からです。そうすると、その3時間前の6時には起床することが望ましいことになります。また、6時に起きるのであれば、ゆっくりと朝食をとり、持ち物を確認し、ゆとりをもって試験会場に向かうことができます。ゆとりをもって会場に行き、ゆったりとした心境で試験に臨むことが最も大切なことです。これなくしては、実力を発揮することなどではしません。



第二には、「朝食を必ずとる」ということです。それも消化の良い物を腹八分目に食べていくことです。そうすれば、活力となるでしょう。試験中は、必死になって考え答案に立ち向かいます。このようなとき、大脳で消耗されるエネルギーは大変なものです。この消耗されるエネルギーを補給するのが朝食です。

第三には、「最後まであきらめな」ということです。少しでもあきらめの心が起きたら、そこで終わりです。1点を争う入試では、最後まであきらめずにくいつく気持ちがあつてこそ合格への切符がもらえる資格があると言えます。自分が難しいと思う問題は、他の人も難しいと思っているのです。すべての人が同じ条件で受験していることを忘れてはなりません。難しい問題にぶつかると、あせりを感じるでしょうが、落ち着いてじっくりと問題を読み返し、何を答えるべきかを正しくとらえなさい。今までの似たような問題を思い出したり、勉強している場面を思い起こしたりすると不思議とヒントが浮かぶことがあります。決して途中で放棄しないことです。放棄しあきらめることは、合格の喜びをも放棄することになるということを決して忘れてはなりません。

それでは、受験生の皆さん、「ゆとり」をもって、最善を尽くすことを願っています。

- 「陽東中だより」をはじめ、各種たよりや学校行事等の情報はホームページ「<http://www.ueis.ed.jp/school/yoto-j/>」にてご覧いただけます。